

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
4. 高いコミュニケーション能力（外国語によるものも含む）、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関与することのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

[illegible]

学類の学修成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年		単位数	履修条件	評価方法	到達目標	備考		
13501	基礎統計学	経済分析に使われる統計手法の基礎を学習する。	基礎的な統計計算が一通り出来るようになる。	2	2	2		③		△	○	○
13502	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学を中心として経済学の基礎的な考え方や分析方法を学ぶ。	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用し、議論を展開することができる。	2	2	2		③	④	○	○	○
13503	ミクロ経済学Ⅰ	市場の仕組みを理解する	ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。	2	2	△		③	④	△	○	△
13504	Basic Economics A	To learn basic theories on economy.	To know concepts used in the courses of the school of economics.	2	2	2		③				
13601	経済学史	経済学の諸学説の歴史的发展過程	さまざまな経済学派について。 1. 歴史的背景を踏まえながら過時的に理解する。 2. 同時代に立立する学派を対比的に理解する。	2	2	○				○	④	
13602	日本経済論	現代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する	1. 戦後日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	○		③	△	△	④	△
13603	経営学概論	経営組織論・経営管理論・経営戦略論の概要とこれらの関連領域における基礎を学ぶこと	経営組織論・経営管理論・経営戦略論とこれらの関連領域における代表的な理論と視覚を理解する。	2	2	○		③	⑤	○	④	△
13604	Basic Economics B	To learn basic knowledge on economy.	To acquire knowledge prerequisite for the courses of the school of economics.	2	2	2		③				
13605	経済史	近代資本主義経済の成立と展開を、人間の生存基盤の持続性を視野に入れて考察する。	現代につながる経済史の主要なトピックについて理解を深めると同時に、体系的に理解する。	2	2	○				④	④	△
23003	情報処理	情報化社会の進展に伴い、情報処理能力を高めるために、パソコンを正しくかつ有効に活用することを学ぶ。	1. 情報処理に対する基本的な知識を得ることができる。 2. パソコンの基本操作が可能である。 3. 最適化問題に対する解法ツールが操作できる。	2	1	1		△	○			○
23004	経済数学	経済学を理解するために必要な数学の基礎を学ぶこと	経済学に関連する数学の基礎的な計算が出来るようになり、数理論理的な思考能力を身に付ける。	1	2	△		③		△		○
23100	演習			3	8							
23200	卒業研究			4	2							

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマポリシー(学位授与方針)
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものを含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)
【2022年度の入学者(1年次)には、国際基幹教育院での勉学および経済学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1)に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2)にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回「アドバイズ教員と選定する機会が確保されている。2年次の10月から12月にかけては専門目標を履修する科目を履修しつつ、2年次04月からの演習配属に向けた関心を養う。3年次(月)に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・政策系科目群およびグローバル系科目群、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に応じて専門分野をより深く(専攻し、調査研究活動や論文執筆等)に取り組む。演習での研究活動を通じて、人材養成目標4、5の裏現が期待される。なお、人材養成目標6および4の裏現をめとして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学修成果(◎:学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○:学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△:学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	2						○		○		◎
23211	海外語学研修B	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	3						○		○		◎
23212	海外語学研修C	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	4						○		○		◎
23220	インターンシップ	就業体験を通して経済学、経営学を実践的に学ぶ	1. 通常の学習と就業体験との統合ができる。 2. ビジネスマナーや一般社会常識の習得ができる。 3. 就業観の形成ができる。	3	2	○								○	○
45100	マクロ経済学II	マクロ経済学に関する標準的な考え方や分析方法を体系的に学ぶ。	1. 標準的なマクロ経済理論を体系的に身につけ、それを論理的に説明できる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。	2	2		◎	◎		○	○	◎	○	○	
45101	ミクロ経済学 II	不完全競争とゲーム理論等について理解する	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようになる。 2. ゲーム理論の考え方を理解することができるようになる。	2	2	△	◎	○	△			◎	△	○	△
45102	政治経済学	資本主義経済の分析にあたって理論的・歴史的(制度論的)・政策的視野をもつことを学ぶ。	時代背景をしっかりと踏まえたうえで、政策的意義や理論のベースの妥当性を考えることができるようになる。	3	2	○		○			◎	○			
45103	計量経済学	横断面データを用いた縦断面分析手法	横断面データを用いた縦断面分析手法が理解できるようになる。	3	2		◎							○	◎
45104	情報科学概論	情報化社会の進展の概要	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。	2	2	◎	○						○		◎
45105	実験経済学	This course will impart a solid grounding in learning the knowhow of experiments based on the understanding about experiment economics. This class does experiments and considers about comparing differences between theory and human action. This course requires the students to take part in experiments and make a plan for experiment by themselves.	The course do reconfirm about theory economics. The course objective is that students are able to get the ability to consider about differences between results of experiments and theory. The final objective is that students are able to make a plan for experiment by themselves.	3	2	◎	◎	◎		◎	◎	○			
45106	都市経済学	This course will impart a solid grounding in urban economics as a part of applied microeconomics after studying public economics. The urban economics analyzes cities and studies reasons for buildings' height, agglomeration of city, etc.	The evaluation criteria of this class refers to the following points. ・Students can understand and explain public goods and urban policies. ・Students can understand a way of thinking and techniques of urban economics based on microeconomics theory. ・Students have a problem-oriented consciousness and can understand the social issues based on microeconomics theory.	2	2	◎	◎	◎		◎	◎	○			
45107	金融論	金融取引の増加は人々の暮らしにどのような影響を与えるのか、金融取引と実物経済の関係を理解するための基礎として、経済学を応用した金融取引や金融市場の考え方を講義する。	1. 金融の基本的概念を理解することができる。 2. 家計、企業の金融取引について理解を深める。 3. 金融取引における金融機関や金融制度の役割を理解することができる。	2	2	○	◎	◎	○	◎	◎	△	○	△	△
45108	財政学	現代財政学の基礎	現代の財政問題と理論的に解明するための基礎を修得する。	2	2	○	○	△			◎	○	○	○	
45109	公共政策論	財政学の現代的应用	財政のグローバル化など、現代の財政現象を理論的に理解できるようにする。	2	2	○	○	△		△		○		◎	
45110	地方財政論	地方財政の財源・経費の構造の背景にある政策枠組みを理解する	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の歳入・歳出・地方債の構造を知る。 3. 歳出・財源構成の変化の背景にある政策動向を理解する。	2	2	○	△				◎	○	○		
45111	地方財政分析論	自治体財政分析に必要なデータ入手と分析方法を学ぶ	1. 自治体の財政データの入手方法を知る。 2. 歳入・歳入・地方債等のデータ分析方法を学ぶ。 3. 歳出と財源を開通付けて自治体の財政構造を説明できるようにする。	3	2	○	△				◎	○	○		○
45130	社会政策論	社会政策に関する理論、思想、歴史的展開、政策体系	・社会政策形成の歴史的展開を理解する。 ・今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力を身につける。 ・雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 ・雇用・失業政策をめぐる今日の対立について理解するとともに、望ましい社会政策のあり方について考えることができるようになる。	2	2	○		○		△		◎	○	○	

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士（経済学）の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力（外国語によるものも含む）、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP（カリキュラム編成方針）

【2022年度の入学者（1年次）には、国際基幹教育院での勉学および経済学方の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1）に鑑み、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2）にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の0から00にかけては専門基礎科目群を体系的に履修しつつ、2年次04から05の演習配属に向けた関心を養う。3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・政策系科目群およびグローバル系科目群、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く（専攻し、調査研究活動や論文執筆等）に取り組む。演習での研究活動を通じて、人材養成目標1、4、5の realization が期待される。なお、人材養成目標および0の realization をめざして、経済学部で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学修成果（①＝学習成果を上げるために履修することによって強く求められる科目、②＝学習成果を上げるために履修することによって求められる科目、③＝学習成果を上げるために履修することによって求められる科目）

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力（外国語によるものも含む）、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学修成果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
45214	アジア経済史Ⅰ	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1			○	○			○	◎	△		
45215	アジア経済史Ⅱ	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1			○	○			○	◎	△		
45216	アジア経済史Ⅲ	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1			○			○	◎		△		
45217	アジア経済史Ⅳ	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1					○			○	◎		△
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の真相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2			◎	○			○		△		
45221	グローバル経済史	Main subject is the globalization in a long term history, from a perspective of the world system.	We aim to understand how the globalization in a long term history resulted in the transformation of contemporary world. Simultaneously, it is important to consider the environmental abuses caused by the globalization.	2	2			○			◎	◎		△		
45222	グローバル・アントレプレナー論	グローバル・アントレプレナー	グローバル・アントレプレナーの本質的理解を前提に、その戦略を該の過程から学び、自らのアントレプレナーとしての力を涵養する。	2	2					○			◎	◎		○
45223	比較地域経済論1	グローバル化のもとでの諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を解明する分析視角を養う。	2	1			○		○	○	○	◎	○	○	
45224	比較地域経済論2	グローバル化のもとでの諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を解明する分析視角を養う。	2	1			○		○	○	○	◎	○	○	
45300	経営管理論	経営管理理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようにする。	2	2			◎		◎		○	△	○		
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようにする。	2	2			◎		◎		○		○	◎	
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2			△	◎			○				○
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2			◎		◎				◎		○
45305	生産システム論	生産システムの概念を総合的視点から言及しながら、次世代へつながらる知的生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1. 生産システムの概念と原理について、理解できるようになる。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる要件について議論ができるようになる。	2	2			○							○	
45306	経営工学	生産システムの運営に關わる生産管理の考え方や技法について講義した上、その実例を紹介する。	1. 生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようになる。 2. 生産管理の抱えている諸問題を明らかにした上で、その解決のための基本的な考え方や方法論について議論できるようになる。	2	2			○		◎					○	
45307	情報分析論	情報（データ）分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2			○	◎					○	◎	◎
45308	簿記会計論	簿記・会計基礎	伝統的簿式簿記実践の基本的構造と機能を理解する。	2	2			◎				○				
45309	現代会計論	簿式簿記機能に基づく銀行会計モデルの記述・分析	簿式簿記の応用的知識を身につけるとともに、銀行会計モデルの理論的枠組み、構造、特徴、および課題を理解する。	2	2				◎			○			○	
45310	財務会計論	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようにする。	2	2			○	◎	△	◎	△				△
45311	財務分析論	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようになる。	2	2			○	◎	△	◎			○	○	△
45312	管理会計論	This course covers the basic issues and topics in management research, with a focus on motivation, leadership, and organizational philosophy.	The goal is to understand the diversity of management and to be able to think about preferred management and leadership styles in your own way.	2	2			○	◎		◎					
45313	証券市場論	証券市場論、株式会社論	主要国（オランダ、イギリス、アメリカ、日本）の証券市場創成史、国民経済と証券市場との関連について一過り理解する。	2	2			○	○	○	◎	○	△	○	△	△
45314	証券論	証券市場論、株式会社論	有価証券（株式、債券）と企業金融について理解を深める。また、発展学習である敵対的買収と買収防衛策についても一過り理解する。	2	2			○	○	○	◎	○	△	○	△	△

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のCP(カリキュラム編成方針)

【2022年度の入学者】1年次には、国際基幹教育院での船学および船学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1)に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2)にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなれるよう、年2回開講のガイダンス教員と相談する機会が確保されている。2年次のO1からO4にかけては専門共通科目を体系的に履修しつつ、2年次O4からの演習配属に向けた関心を養う。3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・政策系科目群およびグローバル系科目群の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に制して専門分野をより深く(専攻し、調査研究活動や論文執筆等)に取り組む。演習での研究活動を通じて、人材養成目標3、4、5の達成が期待される。なお、人材養成目標5および4の達成をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学修成果(③-学習成果を上げるために履修することによって深く求められる科目、④-学習成果を上げるために履修するべきが強く求められる科目、⑤-学習成果を上げるために履修することによって求められる科目)

- 幅広い経済学・経営学の基礎知識を身につけ、経済学・経営学の学びの深みと広がり、必要に応じて必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
- 経済学・経営学の基礎知識を身につけ、経済学・経営学の学びの深みと広がり、必要に応じて必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。
- 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
- 企業、組織のしくみと政府の役割を理解する。
- 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
- 現代社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
- さまざまな社会、経済学、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
- 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
- 将来、社会、経済学、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
- 課題を発見し、自ら解決策を導き出す能力を培う。
- さまざまな情報源から適切な情報を収集し、活用する能力を培う。
- 社会人に必要なコミュニケーション能力、IT能力、プレゼンテーション能力、ディベート能力を身に付ける。

科目番号	授業科目名 (2022年入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
45315	コーポレートファイナンス	コーポレート・ファイナンス	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を演習等を通して体系的に身につけることを目的としている。	2	2						○	○				○	
45316	パーソナルファイナンス	パーソナル・ファイナンスおよびポートフォリオ理論	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を体理解できるようにする。	2	2						○	○				○	
45317	国際会計論	The basic theory of Accounting	This course is designed for students to understand basic principles of accounting for practical use.	2	2	○	◎			◎							○
45318	国際経営論	Outline of International Management	Students can learn management systems of multinational corporations (MNCs) holistically.	2	2	○	◎			◎					○		○
45319	国際マーケティング論	Learn about the practical theoretical system of international marketing	Consumer behavior and corporate marketing practices are diverse internationally. For example, the meaning of "feeling at McDonald's" differs from country to country. Therefore, it is essential for companies to understand the culture of the country they intend to enter. Therefore, the purpose of this lecture is to clarify how marketing management, such as product development, sales behavior and response to customer needs, is developed according to local	2	2	○	◎	△		◎				○	○	◎	○
45320	地域マネジメント論	地域マネジメントの事例と手法、理論を学ぶ	地域資源の発見、活用、評価という一連のプロセスを階層分析でできるようにする。	2	2	○								◎	○	◎	○